

アナログですが、血の通った体当たりの授業

生徒の未来を真剣に考えたら、こんな塾になりました。

3月までのお申し込みで
入学金を全額免除

※ 通常は10,500円(税込)
※ 塾生・卒生のご兄弟は3月を過ぎても免除

ご挨拶

早いもので、開校から十一年が経過し、十二回目の春を迎えようとしております。大手から独立して、自分の生まれ育ったこの地に塾を構えたときは、私もまだ怖いもの知らずの独身でしたが、結婚し、家を建て、今では二児のパパとなりました。何百、何千の生徒や保護者と接してきましたが、人の親になって分かることも多々ありました。人を育てるといことは、机上の空論ではないと思ひ知らされたこともありました。

良い教育、良い教師、良い塾。これらは永遠のテーマです。大資本の塾のように、パンパン宣伝もできません。最新の映像授業やハイテクを駆使した設備など何も無い個人経営の小さな塾が、十年以上にわたってここで教鞭をとっていられるのは、栄興館の指導方針や理念に賛同してくださる地域の保護者の方がいたからに他なりません。

保護者会を開けば、ほとんど欠席もなく集まっていただけの保護者には頭が上がりません。少なからず「厳しい教育」の需要を感じています。良い教師であるかは分かりませんが、保護者の方のお言葉をお借りするならば、生徒たちにとって「やる気の出る塾」「頑張りなければと思いつくあるのかな」と思いたくなる塾もありました。何も無い塾だからこそ、できるのは本気で裏表無く生徒たちと接すること。授業を全力でするだけでなく、プリントを作るのも、冗談を言い合うのも、生徒をイジめるのも、叱ることも、そして褒めるのも認めるのも全力でやるしかありませんでした。

知り合いの塾経営者が次々と個別指導の塾へ変えつつあります。聞けば個別指導の方が世間に需要があるからといます。確かにそうかも知れませんが、でも栄興館は集団での指導を譲れません。私にはこれしかできませんし、集団授業だからこそ、生徒に伝えられることもあると信じます。ある意味アナログでしょう。多くの学習塾がホワイトボードを使う中、私にまだ黒板を使っています。チラシすら私の手作り。時代を逆行したような塾なのです。それでも生徒達はほとんど休まず通ってくれています。

昨年、静岡県の小学生の国語力が最下位だと話題となり、様々な問題が投げかけられました。私は、国語力が低かった理由の一つとしてコミュニケーション不足も挙げられるのではないかと考えました。家族以外の大人がもっとと子どもに話しかけ、ともに考え、悩み、笑う場面が減ったからこそ、あつてはならない事件も増えたのではないのでしょうか。

栄興館では生徒とのコミュニケーションを最大限に増やしなが、今年も体当たり授業を展開して参ります。地域の皆様本年度もよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十六年 春
栄興館塾長 松井良育

大手予備校勤務時代等を含めると、**指導年数20年以上**。今まで**指導した生徒の人数は延べ4,000名以上**となります。指導した人数が多ければ優秀な教師であるとは言えませんが、それだけ多くの生徒、そして保護者の方と接してきた経験値は、栄興館開校後の大きな武器になっています。

生徒が100人いれば100通りの個性があり、「この生徒にはどのように指導しようか」「このクラスは明るいおもしろめの授業で行こう」「調子に乗って油断するタイプだから、ちょっと引き締めた接し方しよう」と、**生徒の性格やそのときの状況によって臨機応変に対応**できるようになりました。

生徒たちは学習面はもちろん、あらゆる面で相談してくれます。大手予備校時代では授業時間にならないと校舎にいませんでしたが、屋過ぎから授業後までずっと栄興館にいますので、保護者の方が買い物帰りに気軽に相談に訪れて下さることも多々あります。また、**卒業生が毎年何名も顔を見せに訪れてくれる、そんなアットホームな塾**です。

●指導人数延べ4,000人以上の塾長が指導します

栄興館では開校以来ずっと集団授業による指導を貫いてきています。昨今の学習塾と言えば、主に個別指導塾。「マンツーマンで見られるから」「付き切りの方が安心だから」「ウチの子は質問ができない子だから」など、様々な理由で個別指導が選ばれている時代背景があります。

しかしそれはある意味、**子どもに対する迎合ではないでしょうか？ 質問ができないまま大人になっってしまうは必ず困りますよね**。教育で大切なのは、**その場限りの知識を与えるのではなく、自ら考え行動できるようになるまでの道筋を与えてあげる**ことではないでしょうか？ 集団の中での立ち回りも、社会における立派な勉強ではないでしょうか。私はそう考えます。

個別指導ではなく理由で集団授業にこだわる理由、それは**社会性を身に付けさせることも大きな理由の一つ**なのです。栄興館に通う生徒にもおとなしい生徒はいます。それが次第に打ち解け、同じクラスのみならず笑顔で話せるようになり、保護者の方から、「ウチの子変わりました」と言っていたことは、栄興館では決して珍しいことではありません。

●あくまでも「集団授業」にこだわります

栄興館には入塾試験はありませんが、**必ず保護者も交えた面接を実施し**、栄興館の方針等に納得していただいた上で入塾していただいています。

ただし、誰でも入塾できる訳ではありません。その面接では主に2つの目的があります。これを判断し、通塾していただくかどうかを決定します。

1つは**生徒本人にやる気を感じるか、なんとかしたいと本当に思っているのか**を見させてもらっています。クラブチームの子どもの上達が早いのは、あくまでも本人にやる気があり、コーチの指示を素直に信じて実行するからに他なりません。**成績は関係ありませんが、やる気は大きな判断要素**です。

2つ目は**生徒の性格を分析すること**です。簡易的ではありますが、生徒をお預かりする以上、**生徒の性格まで把握した上でアドバイス**をしなければ、プロとは言えないと思っています。栄興館ではお互い腹を割った話し合いをし、ご納得いただいた上で通塾してもらっています。**入塾を強要することはありません**。

●入塾試験はありませんが、面接を行います

あまり公にしておりませんが、**実績もそれなりにある**と思っています。5教科で**50点前後の生徒を150点以上にアップ**させたこともありますし、1年間不登校だった生徒をオール4以上にしたこともあります。高校入試においても**過去10年の合格率は97%**を超えています。

しかし塾の窓にベタベタ貼ったり、「〇〇高校に●名」と派手に発表したりは決してしていません。大手に勤務の頃、**200名の合格を出すために、いったい何名の生徒を説得し、上位高校に受験させ、どれだけの不合格者を出してきたか**。大手では、全てが実績作りのための行為でした。

「そもそも実績とは何だ。結局が**がんばったのは生徒**じゃないか。塾の教師はあくまでもサポートしかできていないのに、大々的に公表し賞賛されるものではない。」そう考えるようになりました。だから栄興館では、廊下に「がんばったね。おめでとう」の意味で、**本年度の卒業生の掲示をしてあるのみ**です。実績は誇りませんが、**栄興館の生徒はこれだけががんばれる生徒たち**という事実は誇りたいですね。

●志望校合格率は開校通算97%以上です

開校以来、「厳しい塾」を浸透させるべく生徒と接してきましたが、生徒たちは**思いのほか楽しんで通ってくれている**のが事実です。なぜでしょうか？

それは生徒たち自身がちゃんと「**成長できている**」と、実感してくれているからだと思っています。スポーツで言うならば、**栄興館は強いチームを目指します**。生徒への要求度は高いでしょうし、練習内容だって当然厳しくなります。道具を忘れれば叱られるでしょうし、約束事を疎かにすれば、キツイ言葉の一つも言われるでしょう。しかし、彼らがその厳しさに100%納得して付いてきてくれているのは、**自分が上手くなってきているのが分かる**から。

とは言え、**厳しい塾だからといえ年中叱り倒しているわけではありません**。宿題だってほとんどありません。上記のように、当たり前のことなのに手を抜いた、そういうときにカメラを落としているだけなのです。

普段はいたって普通の塾。むしろ笑い声の聞こえる、それでいてけじめのついたメリハリのある授業が特徴なのです。こんな時代だからこそ**勉強だけでなく様々な面を鍛える塾**が必要なのではないでしょうか。

●「厳しい」のに、塾が楽しいのはなぜ！？

栄興館では、高校受験までの指導をしています。そこで生徒・保護者との関係が切れることはありません。卒業後にも**毎年必ず生徒たちが訪れてくれます**。年賀状等のやり取りはもちろん、高校の修学旅行のお土産をわざわざ持ってきてくれたり、大学合格の報告をしてくれたり、就職の報告や国家試験合格の証明を見せびらかしに来たり、成人式の晴れ着のまま栄興館だけでなく自宅にまで来たりなど、**卒業後の付き合いも少なくありません**。最近では、結婚や出産の報告も増えてきました。結婚の相談をされたこともありまして、予備校勤務時代、転勤が多く、自分の生徒を卒業まで見られないことへのストレスからの独立でしたが、**今では卒業生こそが私の財産**です。

彼らに言わせれば、**叱られたのも良い思い出**とか。どんなことにも口を出し、当時の彼らからすると鬱陶しい存在ではなかったらと思うこともありましたが、**徹底的に生徒と関わろうとする大人が、新鮮だったようです**。栄興館は、**塾生とトコトコ関わっていくお節介な塾**です。

●徹底的に面倒見主義の塾、それが栄興館です

生徒の性格を把握することが私の特技の一つでもあります。授業中でも、授業外でもできるだけ生徒を観察し、その生徒に合った声かけを心がけています。**集団授業の利点**を生かし、**木を見て森を見ずにならないよう**、アンテナを常に高くし、生徒の顔つきや部活での疲れ具合、学校の進捗とその生徒の理解度を見ながら授業を進めています。

独立前は1クラス50名前後の教室を見ていたので、現在の規模の教室は生徒全員を把握するのに非常に良い環境であるともいえます。

「テスト前だから全体で雰囲気をしめようか」「体育大会の練習で疲れているみたいだから、今日は思い切りおもしろい授業展開でいこうか」など、**日々臨機応変に対応できる**ところも、個人経営の塾の長所かもしれません。もちろんアルバイト教師などはいません。アルバイトやパートの都合で担当が突然変わることもありません。11年間、この地で自分だけが教鞭をとってきた地味なプライドもあり、生徒との関係確立には自信があります。小回りが利きつつ、**子どもの頼れる理解者**であり続けます。

●個別指導の塾以上に生徒を把握しています

アベノミクスによりいづらく回復傾向にあるとはいえ、まだまだ景気回復を実感できずにいる方も多いのではないのでしょうか。気になるのはやはり授業料です。静岡県は学習塾等にかかる一月あたりの教育費が約3万4千円と全国で20位前後だそうですが、あくまでもそれは平均値であり、中央値ではありません。となれば、**習い事にかかる費用はできるだけ抑えたい**のもです。

学習塾の費用といえば授業料に目が行きがちです。栄興館の他塾の授業料にはそれほど差はありませんが、**実は大きな開きがあります**。塾の多くが、**授業料以外に、「諸経費」「教材費」等がかかっています**。更にはオプションとも言える「その他」の受講を迫ったりすることも少なくありません。

栄興館では**諸経費や教材費、消費税等を全て含んだものを授業料**としております。(※テキストと模試は別売)

また夏休み等における**季節講座も他塾と比べ低めに設定**しておりますし、**自習室完備**ですので**分からないことを週6日質問しに来て**も追加料金などありません。

●コストパフォーマンスに自信があります

厳しいけどわかりやすい 楽しいからしっかり身につく **昔ながらの学び舎**

本気の新入塾生 募集中

小・中学生進学スクール **栄興館**

〒433-8114 浜松市中区葵東2丁目13-26 2階
 ☎ (053) 420-1238
 Fax (053) 420-6260